

# SBS CUP

国際ユースサッカー  
第2日

SBSカップ国際ユースサッカー(日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社、静岡放送主催)第2日は9日、愛鷹広域公園多目的競技場で2試合を行った。

ともに初戦を制したU-18(18歳以下)日本代表と静岡ユースの対戦は、日本が3-1で勝利し、唯一の連勝で首位に立った。

静岡は後半29分、DFノリエガ・エリック(清水ユース)がCKからゴールを奪って1点差に迫ったが、反撃は実らなかった。

U-18コロンビア代表は3度のPKを獲得するなど5-1とU-18ベルギー代表に圧勝し、初勝利を挙げた。

日本、コロンビア、静岡に優勝の可能性が残る最終日は11日、草薙総合運動場陸上競技場で2試合を行う。

# 日本3発快勝 静岡下す

日本	3	1	0	1	静岡
コロンビア	5	1	1	0	ベルギー
日本	3	1	1	0	静岡
あすの試合					
静岡	15:00	ベルギー			
日本	17:30	コロンビア			

(会場は草薙陸上競技場)



静岡ユース-U-18日本 後半、CKに合わせ飛び込むU-18日本・晴山(左端)＝愛鷹広域公園多目的競技場

【評】日本が効果的に加点した。前半20分、日本は静岡の最終ラインの背後を突いた晴山が先制点を決めた。24分は静岡DF陣のパスミスを見て反撃に出た。31分、

## 2トップアベック弾

日本は2トップのアベック弾で快勝した。前半20分、MF岩本(筑波大)のパスに抜け出したFW晴山(帝京長岡高)が冷静に先制。24分には静岡DFのパスを

晴山が奪い、桜川(千葉ユース)が決めた。晴山は「今回の代表で高い回す泥くさいプレーで好機を呼び込んだ。2点目は自分で狙うこともできたが、「お互いの信頼関係を築くため」と桜川にゴールを譲った。

190センチと長身の桜川は、ナイジェリア人の父を持ち、抜群の身体能力を誇る。「2、3点取れるチャンスがあったので満足できない」と話した。代表では2月のセルビア戦以来の得点。「(代表の)監督は世界に出て点を取れる選手を探している。次のコロンビア戦も決めたい」とU-20日本代表にも選ばれた逸材は前を向いた。

毎年、静岡ユースに苦しめられてきた。PK戦を制した昨年は、4年ぶりの勝利だった。「自分が指揮を執って3年目で初めてきちり勝った。選手がトライしてくれた」と影山監督。日本は連勝で6年ぶりの優勝に王手をかけた。(大山雄一郎)

## 静岡果敢な攻め貫く

も、静岡は最後まで諦めなかった。加藤監督は豊富な運動量で攻め続けたイレブンに「同じ日本のチームとして勝ちたかったが、選手は期待通り、闘志をむき出しにしてゲームに向かってくれた」とたたえた。個人技などで変化に富んだ攻撃を繰り広げる日本に対し、静岡は果敢に前に出て守った。攻撃でも三木

## コロンビア5点圧勝

【評】コロンビアが大勝した。前半21分、コロンビアはE・モスケーラが倒され、PKを自ら決めて先制。34分、高い位置でボールを奪ったE・モスケーラが持ち込んで2点目を決めた。40分、スロインからの素早い攻撃でバレンシアが決めた。

前半シュート1本の相手DFに競り勝ってベルギーは後半、早い1点を返した。だが、の選手交代で盛り返し25分と終了間際にPK12分、カイパーが献上した。

U-18コロンビア代表エクトル・カルデナス監督の話。選手の調子が上がっている。昨日は個人プレーが目立ったが、チームプレーができるようになってきた。高い位置からのプレスが功を奏し、得点につながった。

【評】コロンビアが大勝した。前半21分、コロンビアはE・モスケーラが倒され、PKを自ら決めて先制。34分、高い位置でボールを奪ったE・モスケーラが持ち込んで2点目を決めた。40分、スロインからの素早い攻撃でバレンシアが決めた。

準備が足りない

U-18ベルギー代表ジャッキー・マタイセン監督の話。コロンビアとは身体的、技術的に大きな差があった。チームとして準備が足りないと感じたが、守備はもう少しできたと思う。